

目標値設定理由確認シート

大分類コード	6-1-1	大分類名称	市民の創意と意欲を活かした協働のまちづくり
--------	-------	-------	-----------------------

指標名	市民活動サポートセンターを利用する公益活動登録団体数							
指標の説明	各年度の市民活動サポートセンターを利用する公益活動登録団体数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
	147	249	368	432	457	488	504	520
目標値	470	単位	団体	備考				
目標値設定の根拠								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 当初、市民活動情報ネットの登録者数を入れていたため、修正 </div>								
利用団体数は21年度現在で約500団体となっているが、23年度からは利用基準を「市民活動情報ネット」と同様、利用登録制の導入を予定しており、利用団体がより公益性の志向のある団体に絞られることになる。 よって、23年度の利用団体数は22年度と比較して約3割減の370件程度になるものと考えられるが、「市民活動情報ネット」の登録数を指標にすると前年度比7団体増の実績値÷10団体増であり、この増加実績をもとに目標値を設定している。								

指標名	公募市民委員が参加している審議会等の数							
指標の説明	各年度の公募市民委員が参加している審議会等の数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
								8
目標値	25(仮)	単位	個	備考				
目標値設定の根拠								
H22. 4. 1現在で89の審議会等のうち8の審議会等で公募市民委員が参加している。 審議会等のうちには、その設置目的・審議内容等により、公募市民委員の参加になじまないものもあるため、今後、公募市民委員の参加に適する審議会等を精査の上、当該審議会等で100%の参加を目標値とする予定。 現時点では、行政への市民参加が全国的にも有名な東京都三鷹市が25の審議会等で公募市民委員が参加していることから、同数値を計上してある。								

指標名	市と市民団体との協働事業数(平成23年度に庁内調査を実施)							
指標の説明	各年度の市と市民団体との協働事業数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
								—
目標値	100(仮)	単位	件	備考				
目標値設定の根拠								
特定非営利活動促進法で分類されている17の活動分野をもとに、協働事業形態の定義を位置づけ、毎年庁内調査を実施することで把握する。この調査をもとに、協働事業をより公益性を高めるための課題や、協働で推進することが望まれる事業の洗い出しを行い、協働事業の促進を図るものとする。								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	6-1-2	大分類名称	市民との情報共有の推進
---------------	-------	--------------	-------------

指標名	市ウェブサイトのアクセス数							
指標の説明	各年度の市ウェブサイトのアクセス数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
492404	762245	878288	106219	1225733	1339617	1375281	1,720,502	
目標値	3,400,000	単位	PV/年	備考	PV: ページビュー			
目標値設定の根拠								
<p>平成16年度から21年度まで最近5年間の、年間約15万件の純増によるアクセス数の伸びを今後も継続する。現状の約2倍の数値だが努力目標として掲げる。</p>								

指標名	市民意識調査の回収率の向上							
指標の説明	各年度の市民意識調査の回収率の向上							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
51.6	49.2	45.9	46.3	48.4	50.0	50.2	52.3	50.0
目標値	55.0	単位	%	備考	回収率 = 有効回答数 / アンケート票配布数			
目標値設定の根拠								
<p>過去5年間の平均回収率(50.2%)から約1割の向上</p>								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	6-2-1	大分類名称	ふれあいに満ちたコミュニティの育成
---------------	-------	--------------	-------------------

指標名	町会加入率							
指標の説明	各年度の町会加入率							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
82.06	81.78	81.15	80.61	80.5	79.12	77.99	76.92	76.41
目標値	77	単位	%	備考	町会加入率＝町会・自治会の加入世帯 /市内全世帯数			
目標値設定の根拠								
<p>町会加入世帯は毎年増加しているものの町会加入率は微減しているため、町会により多くの世帯が加入するよう、努力値として77%とした。</p>								

指標名	町会・自治会館の設置数							
指標の説明	各年度における町会・自治会館の設置されている総数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
	280	280	280	281	283	283	283	284
目標値	294	単位	館	備考				
目標値設定の根拠								
<p>会館は自治会活動の拠点として、地域活性化の推進に必要な施設です。会館建設は、町会・自治会にとって大きな目標であり、そのために長期にわたり積み立てなどの資金計画を立てているところもあります。毎年度町会・自治会に対して会館設置計画をアンケートやヒアリングにより把握していることから、10年後の目標値とした。</p>								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	6-3-1	大分類名称	男女共同参画社会の形成
--------	-------	-------	-------------

指標名	男女共同参画センターの自主講座参加人数							
指標の説明	各年度の男女共同参画センターの自主講座参加人数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
2,336	2,619	2,627	2,216	2,209	2,206	1,783	1,682	
目標値	2,300	単位	人	備考				
目標値設定の根拠								
<p>主催講座等は事業を精査し、回数を減らしているため、参加人数は減少したが、それぞれの募集定員を満たすことを目標とした。</p> <p>セミナー定員 30人×年36回 1,080人 講演会定員 200人×年 2回 400人 男女共同参画センターフェスティバル 800人 1,080人+400人+800人=2,300人</p>								

指標名	船橋市の審議会等への女性登用率							
指標の説明	各年度の船橋市の審議会等への女性登用率							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
19.9	19.9	21.4	22.8	22.8	24.2	22.3	22.6	22.2
目標値	30	単位	%	備考	登用率=女性委員数/全委員数			
目標値設定の根拠								
<p>船橋市審議会等の設置及び運営に関する指針において「委員に占める女性の比率は、30%以上に高めるように努める。」とあるが、現状まだ達成できていないためこれを目標値とした。</p>								

指標名	男女共同参画センターにおける相談の件数							
指標の説明	各年度の男女共同参画センターにおける相談の件数							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
—	1,465	1,817	1,895	1,875	1,909	1,804	2,114	
目標値	2,800	単位	件	備考				
目標値設定の根拠								
<p>女性相談 8人(一日の相談人数)×約288日(年間相談日数)=2304件 女性の生き方相談 266件 男性の生き方相談 60件 女性のための法律相談 170件 2304件+266件+60件+170件=2,800件 女性相談については、これ以上相談を受けるのは無理という上限の件数を目標値とした。 生き方相談と法律相談については、年間相談日数が決まっているため、これ以上件数を増やすには、相談日を増やさなければならない。</p>								

目標値設定理由確認シート

大分類コード	6-4-1	大分類名称	高度情報社会の構築
---------------	-------	--------------	-----------

指標名	情報セキュリティ研修に参加した職員の割合							
指標の説明	情報セキュリティ研修に参加した職員の割合							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
								8.44
目標値	100	単位	%	備考	割合＝受講者数(累積)/職員数			
目標値設定の根拠								
<p>情報セキュリティの観点では常に性悪説に立って対策を考えざるを得ず、インシデントは必ず発生するという前提で対策を施す必要がある。つまり、職員全員の意識を向上させない限り、情報セキュリティは高揚しない。具体的には、職員一人ひとりが、情報セキュリティ対策や個人情報に関する基本的な知識について、行動レベルで身につけ、日々の業務にあたることが重要となる。</p> <p>そのため、全職員(臨時職員、非常勤職員も含む)を対象に情報セキュリティ研修を実施(＝目標値100%)することが目標となる。</p>								

指標名	防犯、防災等のメール配信システム登録者							
指標の説明	各年度の防犯、防災等のメール配信システム登録者							
現状値(各年度のこれまでの実績)								
14	15	16	17	18	19	20	21	22
								25000
目標値	41,000	単位		備考				
目標値設定の根拠								
<p>平成22年度以降年間約5%ずつの増加を目標とし、41,000件の登録を目標値とした。</p>								